

北海道大学病院に入院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 血液培養陽性例に対する抗菌薬適正使用推進の効果

[研究機関] 北海道大学病院（病院長 寶金 清博）

[研究責任者] 井関 健（薬剤部・教授／薬剤部長）

[研究の目的]

感染症を起こした、あるいはその疑いのある患者さんには、抗菌薬による治療が行われますが、その抗菌薬の使用については、より有効かつ、副作用が出ないように安全に使うことが患者さんの利益につながります。この抗菌薬による感染症治療を、最大限有効にかつ安全に行っていただくため、感染症が強く疑われる血液培養陽性（本来、菌がないはずの血液中から病原菌が検出された患者さん）の患者さんについて、使われている抗菌薬の種類や量、投与期間などを確認する業務を、主治医の先生方とは別の医療チーム（感染対策チームの医師と薬剤師）が行っております。このように、積極的に主治医の先生方による抗菌薬治療内容を確認し、適切な種類の抗菌薬を、適切な量・投与期間で使っていただくことを支援することが、どのような効果をもたらすのについて、診療情報から得られた過去の診療データを用いることにより明らかにしようというのがこの研究の目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2011年1月～2015年3月までに北海道大学病院に入院し、血液培養検査にて何らかの病原微生物が検出された患者さん。

●利用するカルテ情報

①日常臨床において検査・測定される以下の項目

：患者基本情報（年齢、性別、身長、体重）、疾患情報（疾患名、手術名、治療内容）、血液検査結果（肝機能、腎機能、電解質、血清アルブミン値、CRP、プロカルシトニン、D-ダイマー、血小板数等）、血液培養結果（細菌検査関連

- データ：最小発育阻止濃度)、体温
- ②併用薬剤の使用歴
 - ③転帰（生存または死亡）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道大学病院薬剤部 山田 武宏

住 所：札幌市北区北 14 条西 5 丁目

電 話：011-706-5754・・・(薬剤部直通)